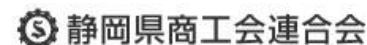


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年3月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年3月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年3月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【物価高騰や人手確保難が収益を圧迫し多くの業種で課題となっており、一部業種では関税引上げによる影響が懸念され不透明感が増している】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-20.1（前月-15.2、前年同月-15.5）で、前月比4.9pt悪化した。自動車部品関連の製造業では受注減少が続き、先行き不安が高まる中、トランプ関税の影響が懸念される。また人材確保難や物価高騰による資金繰り悪化が経営課題となり、業種ごとに業況の差が生じている。

【製造業】

業況は-20.5（前月-12.7、前年同月-15.7）と前月に比べ7.8pt悪化した。自動車部品関連では生産調整による受注減少が続き、先行き不安が高まる中、トランプ関税の影響で不透明感がさらに増している。

【建設業】

業況は-14.7（前月-17.7、前年同月-26.5）と前月に比べ3.0pt改善した。人材確保難や若年層採用の停滞、経費高騰による採算悪化が懸念される一方、業況は2期連続で改善された。

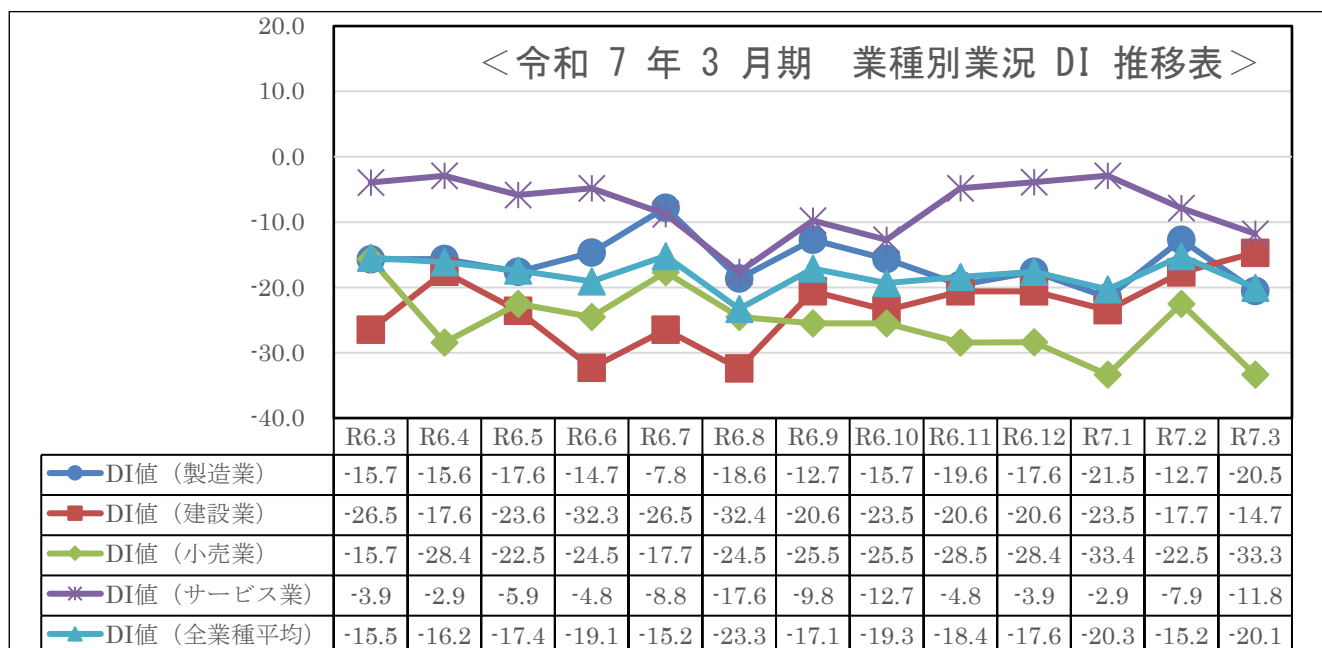
【小売業】

業況は-33.3（前月-22.5、前年同月-15.7）と前月に比べ10.8pt悪化した。物価高騰や賃上げで資金確保が課題となる中、売価への転嫁が進まず、利益圧迫や在庫確保も懸念される。

【サービス業】

業況は-11.8（前月-7.9、前年同月-3.9）と前月に比べ3.9pt悪化した。伊豆地域では桜開花の遅れにより観光需要の取込みが減少し、旅館業関連の業況は低調となった。一方、洗濯業は年度替わりで需要が増加しており、業種ごとの業況に差が生じる状況となった。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・中国経済の低迷を受け、自動車部品よりも住宅部品の製造比率を増加している。（伊豆）
- ・機械金属業ではトランプ関税の不透明感が影響を及ぼし始めており、輸出割合の高い企業において部品発注行動に変化が見られている。（富士駿東）
- ・食料品製造業では原材料価格高騰や諸経費上昇が影響し、厳しい業況が続いている。（中部）
- ・自動車部品関連では生産調整により受注が減少しており、他の部品製造も行われるも割合は限定的で、さらにトランプ関税による先行き不安が続いている。（中東遠）
- ・繊維工業では受注は一定数確保されており、前年同時期と同水準を維持しているものの、業界全体では後継者不足により廃業が増加傾向にある。（西遠）

【建設業】

- ・人材確保が困難であり、特に若年層の採用が進まず厳しい業況が続いている。（伊豆）
- ・トランプ関税の影響により国際的なサプライチェーンが混乱し、輸出建材の価格高騰に繋がることが懸念されている。（富士駿東）
- ・労災リスクへの配慮により、若年層の一人親方への受注が増加傾向にある。（中部）
- ・リフォーム需要はあるものの新築は少ない状況が続いている。また工賃の低水準に加え、消費税の納付負担が資金繰りを厳しくしており、遠方の現場ではガソリン代の高騰が利益を圧迫する要因となっている。（中東遠）
- ・事業者や職人不足を要因に大阪万博に関する仕事の依頼があり、宿泊先の確保や高額な経費の負担が懸念される状況であったものの発注を受けた。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

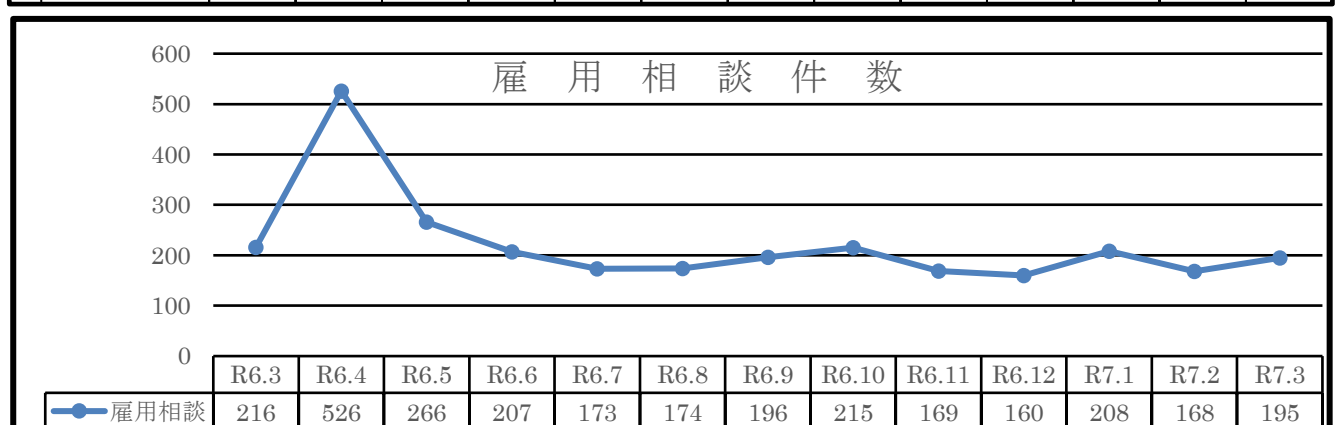
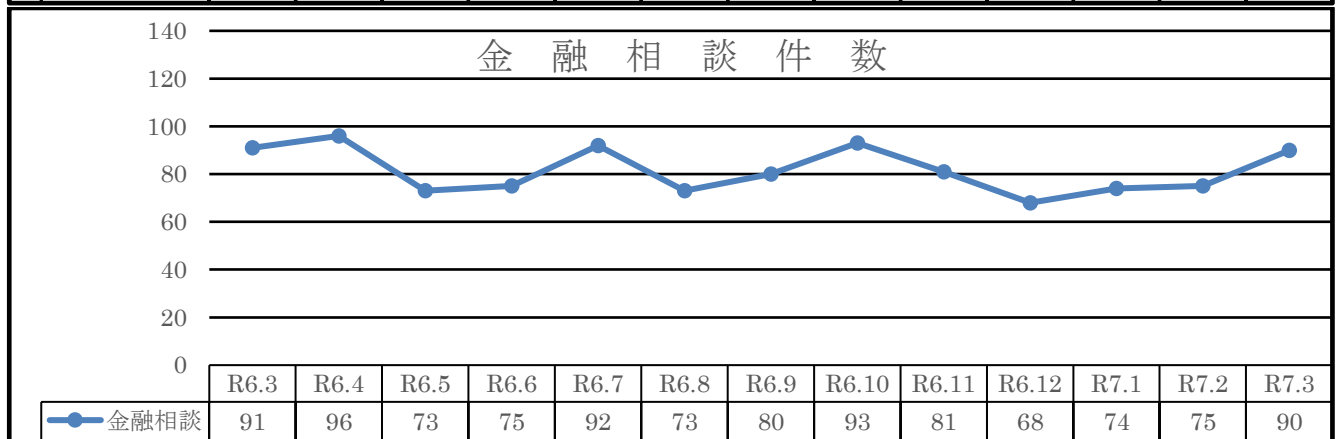
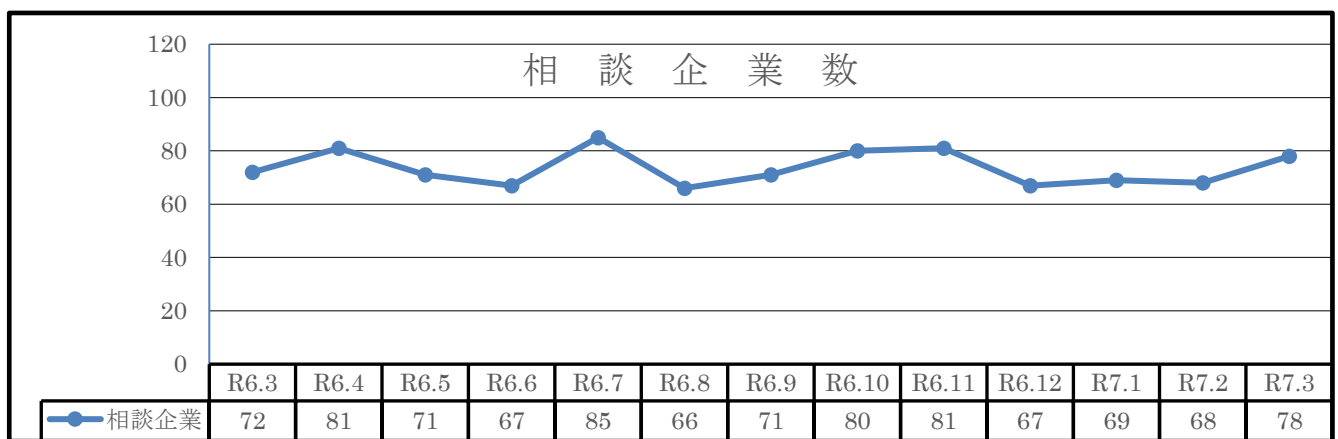
- ・米や野菜の価格が高騰しており、買い控えや代替品購入の動きがある。（伊豆）
- ・物価高騰や最低賃金引き上げに伴う資金確保が課題である。（富士駿東）
- ・仕入価格が上昇するものの、売価への転嫁が難しく課題となっている。（中部）
- ・学生衣料は生徒数の減少により売上が落ち込んでおり、またキャッシュレス決済の増加により手数料負担が大きく、利益が圧迫されている。（中東遠）
- ・主力商品である「しらす干し」は、月末より春漁が始まったが、以前のような漁獲高は期待できず、浜値の上昇により在庫確保に苦慮している。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・河津桜の見頃宣言が2月末に出され、まつり期間も3/9まで延長されたことで、3月はプラスとなった。しかしながら、桜まつり全体の期間では非常に厳しい状況であった。（伊豆）
- ・河津桜の開花が遅れ観光需要の取込みが減少、旅館業関連の業績は低調である。（富士駿東）
- ・地場産品である桜海老の春漁が3月末から始まり、関連事業所では来店客の増加を期待している。（中部）
- ・洗濯業では年度替わりでフォーマルウェア利用が増加し4月以降も期待している。（中東遠）
- ・理美容業では固定客中心が続いており、新規顧客の獲得に向けた仕組みの構築が課題となっているが、具体的な方策の検討が進んでいない。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	78	68	10
【金融相談件数】	90	75	15
新規融資（借換えを除く）	54	57	-3
既存債務の借換え	31	11	20
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	7	-2
【雇用相談件数】	195	168	27



【金融相談】

金融相談件数は 90 件と前月(75 件)に比べ 15 件増加した。資金繰りや融資返済に関する相談が増加し、経営状況に差が生じている。また融資により資金調達する補助金活用の支援も実施した。

＜経営指導員コメント＞

- ・前向きな資金相談がある一方で、資金繰りに関する相談もあり、コロナ禍以降の取組みによって同業種内でも経営状況に差が生じ始めている。(伊豆)
- ・コロナ関連の融資制度を利用し返済措置をしていた事業者に対し、資金繰り表の作成支援等を実施した。(富士駿東)
- ・小口運転資金の相談があったが、実際の申し込みには至っていない。(中部)
- ・融資により資金調達し補助金制度の活用を予定している事業者に対し、事業計画の作成支援を実施した。(中東遠)
- ・コロナ関連融資の返済が始まり、コロナ禍で経営を維持してきた事業所の資金状況が悪化している。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、195 件と前月(168 件)に比べ 27 件増加した。人手不足や賃上げ、所得制限の影響により相談が増加し、従業員の確保が困難となり黒字廃業を余儀なくされた事業者も出ている。

＜経営指導員コメント＞

- ・人手不足が深刻化し、パート・アルバイトの確保が困難な事業者が増加している。派遣やタイミー等を活用して対応する事業所も多いが、黒字廃業を余儀なくされた事業所もあった。(伊豆)
- ・103 万円の壁に関する報道が増えた影響で専従者やパート従業員を中心に給与や勤務時間に関する相談を受ける機会が増加している。(富士駿東)
- ・最低賃金が毎年上昇しており、小規模事業者の人件費率が増加している。(中部)
- ・雇用保険の資格取得・喪失手続きに関する相談が多くあった。(中東遠)
- ・業務改善助成金を活用した設備投資に関する相談があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2/28(金)に河津桜の見頃宣言が出され、「河津桜まつり」の期間が3/9(日)まで延長された。桜まつりの入込数は約54万人(前年比87%)となり、桜まつりが年間の売上ピークとなる事業者が多い中で非常に厳しい結果となった。(河津町)
- ・3/23(日)に「河津寄って軽トラ市」を開催し、天候にも恵まれ、約1300名が来場し会場が賑わった。(河津町)
- ・「みなみいず応援プレミアム付商品券」販売され、1世帯最大5冊5万円分を2.5万円で購入できる。4月～7月にかけて町内登録事業所にて利用可能である。(南伊豆町)
- ・3/30(日)に「第9回堂ヶ島トンボロ開き」を開催した。晴天に恵まれ例年以上に人手があり盛況であった。(日伊豆町)
- ・2月に実施した「おやまちデジタルスタンプまつり」の抽選会を3月上旬に行い、賞品(デジタル地域通貨)を当選者へ配信した。(小山町)
- ・3/29(土)～30(日)に「第32回かんばら御殿山さくらまつり」が開催された。蒲原桜海老商業協同組合による「桜海老ジャンボかき揚げ実演」イベントが行われ、多くの来場者で会場が賑わった。(静岡市清水)
- ・3/30(日)に「高天神社例大祭」、4/4(金)～5(土)に「三熊野神社大祭」が開催された。(掛川みなみ)
- ・3/23(日)に大洞院・石松墓前で「第25回森の石松まつり」が開催された。(森町)
- ・3/22(土)に「海プロフェスタ2025」が開催された。海外付近に完成した「休憩・交流施設」等のお披露目の他、商工会員事業所のキッチンカー、青年部・女性部による出店もあり、市内外から多くの来場者が訪れた。(浅羽町)
- ・3/29(土)に「第72回浜松市姫様道中」が開催された。(奥浜名湖)
- ・湖西・新居観光協会主催の「牡蠣小屋」は、牡蠣の生育が遅れて出出しは悪かったが、テレビや新聞等のマスコミ取材もあり、多くの来場者で前年売上を大幅に超えた。(新居町)